

## (仮称)吹田市立スタジアムの交通部会見解(案)

## (交通渋滞)

- 周辺駐車場と連携した駐車場予約制の適用にあたっては、その実効性を高めるための方策を関係機関と検討し、施設供用までに運用が可能な状態にしておくこと。
- 予約駐車場入口で外周道路に入場待ち車列が発生しないように、駐車場への入場車両が一時に集中することを回避する対策を講じること。

## (交通安全)

事業者が評価書案で示した歩行者誘導計画については、試合終了後退出まで約1時間を要することから、退場者の事故を防止し、また快適に移動できるよう以下の取組を追加する必要がある。また、施設供用後、事業者は、歩行者を適切に誘導するための方策を継続的に改善し、更なる安全確保及び快適性の向上に努める必要がある。

- 退場者に対して適切なルートや公共交通機関の運行情報などをリアルタイムに提供することで混乱を回避し、交通安全上のリスクを低減すること。
- 歩行者シミュレーションによる予測をもとに、歩行者を安全かつ快適に誘導するためのマニュアルを作成すること。
- 自転車と歩行者の間で事故が生じないような対策を講じること。
- 遠隔地からの来客への対応として、大阪駅、京都駅などの拠点となる駅へのバス輸送の可能性を検討すること。
- スタジアムへの来客による公共交通機関の一時的な混雑による事故リスクを低減するための方策を検討すること。

## (付帯意見)

当該事業において最も重要な課題である、交通混雑の緩和及び交通安全の確保にあたり、事業者は、道路管理者、モノレール事業者をはじめ地権者、吹田市、大阪府などの関係機関と十分協議を行い、公共交通の輸送力増加、道路整備などの実施を目指すこと。